



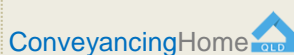
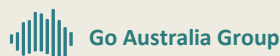
[著者]

清水ヒデキ 豪援隊長
弁護士・移民コンサルタント
(MARN:9900985)

「オーストラリアから日本を援
けよう」と豪援隊発足。16歳
で単身オーストラリアに留
学。その後、ボンド大学を卒
業し、QLD州弁護士資格取
得。長年に渡り、日本人なら
びに日系企業、世界各国の
クライアントのコンサルタント
業務に従事。

インデックス

- 今月のジョーク 1
- 今月の視点
- キャンベラ劇場
- 今月のジョーク 2
- おさらい



http://zoesangels.org/
Go オーストラリアグループ
は、Zoe's Angels
「Zoeの天使たち」を
支援しています。



弁護士 清水の

豪援隊かわら版

2月号

今月のジョーク 其の壱 (ジョーク集より)

ある抱負の移り変わり(ダイエット編)

- 2014年: 体重を 80kg 以下にする。
- 2015年: 体重が 90kg 以下になるまで新しいダイエットを続ける。
- 2016年: 自分の体重について現実的に態度を改める。
- 2017年: 週に 3 回は何か運動をする。
- 2018年: 週に 1 度はジムの前を車で通るようにする。



今月の視点 ア・ツ・イ

オーストラリアオープンが熱い!

毎年、オーストラリアでこの時期の話題はテニスです。ブリスベンでは、オーストラリアオープンの前の調整試合のような大会が行われ、海外からの有名選手も多数参加して毎年のテニスシーズン到来を告げることとなります。

日本では大雪で交通マヒをしているさなか、オーストラリアはこの時期、夏真っ盛り。毎日 35 度を越える気温が続き、改めてエアコンのありがたみを感じる日々が続くこととなります。

それに引き替え、オーストラリアオープンですが、この時期は本当に暑い日が続きます。実際に観戦に行った人から聞くと、気温 35 度の場合、テニス会場の中は 40 度半ば、そしてコートの上は 50 度を越える温度になるそうです。そりゃあ、選手も文句が言いたくなるわけです。

2月の嵐が熱い!

この時期、昨年も同じようなコメントをしたような気がしますが、オーストラリアではこの時期、かなり天気が乱れることが多くなります。昼間は青空で暑い夏の日でも、夕方が近づくと、夕立で雷もドカンです。そして、その嵐が通り過ぎた後には、停電、折れた木々、そして損壊してしまった家屋等がニュース等に取り上げられます。この時期夏を満喫するにはいい時期であることは間違いありませんが、それと同時にこうした嵐も発生するという、改めて自然の偉大さを感じさせられました。

冬季オリンピックが熱い!

今月は冬季オリンピックで盛り上がった月でもありました。日本人勢も本当にがんばっていました。中でも、フィギュアスケートの羽生選手は期待通りの活躍でした。オーストラリアの選手たちも活躍しているようです。

「準備はいいか?」「こっちは駄目だ!」—移民局が熱い(?)

昨年の4月来、たくさんの人々の頭を悩ませてきた 457 ビザが今月いっばいで廃止となります。その後は Temporary Skill Shortage(TSS)ビザと呼ばれるビザとなります。先日参加したホームアフェア省(前移民局)からの説明会によると、このビザは 487 という番号がついていますが、その番号で呼ぶのは極力控えてほしいとのこと。何でも、このビザはあくまでも Temporary Skill Shortage(短期スキル(有する人)不足)の際に用いられるビザであり、その意味をもっと国民に感じてもらうために、この総称をあえて使っていくということです。あらためて、政府の本気度を知った説明会でした。

一応、TSS ビザ導入が始まる 3 月 1 日ですが、残念ながら提案をされていたトレーニングコスト捻出に関する条件の変更に関しては、まだ法制化されておらず、まだ議会を通すところだということです。そのため、中途半端なスタートを 3 月時点では切るわけですが、もう昨年の 4 月にやると発表してしまったから、後には引けない。そんなわけで、中途半端で矛盾だらけのビザであっても、今回の 3 月からの改正となる運びです。

オーストラリアの移民政策のこれからですか？ますます厳しくなると思われま。経済的にどうしようもない事態になるまでは、このままネオ白豪主義政策の色合いが強まるでしょう。これは世界的なトレンドともいえる動きであると思いますが、いろいろな国ではすでに既得権益者たちの更なる抵抗が始まっています。特に中のほうの国に対しては更なる警戒を開始しています。

オーストラリアも、今までの移民政策とは反対方向に舵取りを切ったわけですから、各方面において混乱が起こっているのは致し方ないことなのかもしれません。一番文句が言いたいのは役所内で働く役人さんたちかもしれないですね。

キャンベラお茶の間劇場「副社長の乱」

丸込(マルコム)社長:「怒!!! 場奈日(バーナビ)をすぐに呼んで来い!!!」

副社長の場奈日が、妻帯者でありながら、同じ職場の女子社員を妊娠させたことが発覚。それに激怒した丸込は、部下に副社長を呼び出すように命じた。

場奈日:「何か、用ですかね？」

丸込:「何か、用ですか？だと。。。お前の仕出かしたことでマスコミが騒ぎ始めとるわい。お前の下半身は、お前のそのエロ面と同じでそんなにだらしのないか！？お前のプレーキが利かない下半身のおかげで、この会社の経営陣全体がだらしなくましく立てられておる。次の総会で俺の社長の座も危くなるんだぞ！どうするつもりだ!!!」

場奈日:「社長、私だけ悪者にするのはちょっと不公平じゃないんですかね。他の役員だって、散々に好き勝手しているのに、少しマスコミに騒がれたから、私だけ、ここまで言われるのではやってられない。」

丸込:「何じゃと！？亜保戸(アボット)前社長が残したうっとうしい影をようやく追い払って、株主からの支持を回復していたところなのに、お前のだらしのない下半身のおかげで、何もかもぶち壊しだ！ついこの前、お堅いジャーナリスト間にカミサンとおしどり夫婦万歳と取材を受けたところだ！それもすべて好感度アップのための計算だったのに、重ね重ねお前の下半身のためにすべて無駄だ！」

場奈日:「わかりました、社長。そこまで言うんだったら、もう好きにしてくれ！副社長の座から降ろすなり、首にするなり、好きにしてくれ。この事もあんたも知らなかったわけじゃないんだ。この場におよんで、自分だけ善人面かよ。やっぱり、丸込はその場しのぎの人気取りしかかんがえちゃいないんだ。俺は、どんなことがあっても、戻ってくるからな。そのときは覚えてやがれ。」(怒号のともに、勢いよく社長室から退室する場奈日副社長。)

丸込:「ふう。。。」「うん、これしかない。。。」

数日後、今回の場奈日副社長のスキャンダルに関する記者会見の場にて

丸込:「当社のすべての役員は、社内恋愛ならびに社員とのHは一切禁止する！」(えへん、すごいだろう！この俺の決断力は。。。)

記者連:「えっ！（これが一流企業の社長の言うことかよ。。。恥ずかしすぎるぜ。。。）」

まだまだ、続くキャンベラ劇場、総会までは目が離せない。

(注:この物語は一切フィクションです。)

今月のジョーク 其の貳

(ジョーク集より)

2018年の運が良くなりますようにトイレ川柳

間に合った 仏は居たが かみ(神)が無い

妻は強 ウオシュレットですら 我は弱

英単語 トイレに貼ったら 母覚え

【おさらい】就労ビザ3月以降の変更について

いよいよ3月から457就労ビザが廃止になり、TSSビザが導入されます。一部法制化がされておらず、しばらくの間、混乱を招くのではないかと考えられますが、以下、おさらいをしておきましょう。

TSS(Temporary Skills Shortage)ビザは短期(2年)、中長期(最大4年)の2ストリームで構成されます。

【短期ストリーム】

- ・STSOLにある職種で申請(更新は1回まで)
- ・英語力の証明(IELTS 5(各分野4.5)以上)

【中長期ストリーム】

- ・MLTSSLリストにある職種で申請(取得から3年後に永住権申請可)
- ・英語力の証明(IELTS 5(各分野5)以上)

【共通の条件(ビザ申請者)】

- ・最低2年間の関連する職歴
- ・最低給与(現在\$53900)
- ・無犯罪証明書

基本的な申請の流れとしては、457ビザとあまり変わりませんが、上記項目にもあるように大きな違いは、今後TSSビザを申請するためには事前の実務経験として最低2年以上の指定職種に関連した経験が必要となる点でしょう。そのため、今までであれば、実務経験のない学生の方も457ビザに移行できた可能性がありましたが、今後はそれができなくなります。学生の方は、それまでに積み重ねる実務経験またはその後の卒業ビザ(可能な場合)において蓄積する実務経験を用いて申請を検討しなければなりません。お問い合わせは当所まで、どうぞ！



Go Australia Group

ゴールドコースト事務所

Suite 222, Level 2, Watermark Hotel & Spa
3032 Surfers Paradise Blvd, Surfers Paradise QLD 4217

ブリスベン事務所

Level 5, 262 Adelaide St, Brisbane QLD 4000

E: info@goaustralia-visa.com

<電話でのお問合せ>

オーストラリアから: 07-5570-4542 (月~金 9:00-17:00)
日本から: 03-4283-8484 (日本時間 月~金 8:00-16:00)

www.goaustralia-visa.com